



## いつもお仕事ありがとうございます 認定こども園文化幼稚園

認定こども園文化幼稚園(久保田美智子園長)の年長児9人は22日、役場を訪問し園児が手作りした鉢に植えられたパンジーの花とメッセージカードを手渡しました。

同園は、毎年11月23日の「勤労感謝の日」に合わせて、町内の事業所などを訪問し働いている人たちに感謝の気持ちを伝える活動を行っています。

園児たちが声をそろえて「いつも、お仕事ありがとうございます」と大きな声で元気よくあいさつすると、大木副町長は「かわいいお花をありがとうございます。これからも、町のためにお仕事を頑張っていきます」と笑顔でお礼の言葉を伝えました。

## 長年にわたる活動が実を結ぶ 関東子ども会

関東子ども会(作田容司子会長)は11月11日佐藤町長を訪問し、2019年度熊本県子ども会連合会子ども会大会で優良子ども会の表彰を受けたことを報告しました。

同会は、34年前に発足。長年、花いっぱい運動などの体験学習や地区単独での廃品回収など、地区全体を巻き込んだ活発な活動をしていることが評価され、今回の受賞となりました。

訪問した児童たちは「いつも子ども会の活動を楽しみにしています、これからも子ども会の活動を協力して頑張りたいです」と照れながらも笑顔で話し、佐藤町長は「これからもみんなで協力し合って、子ども会の活動を頑張ってください」と笑顔でお祝いしました。



## 2年連続“南関のお米”九州一に 「にこまる」が最高金賞

有限会社原農場の原靖さん(関下)は、11月29日佐藤町長を訪問し、「第3回九州のお米食味コンクールin菊池」で『にこまる』という品種が個人総合部門で最高金賞を2年連続で受賞したことを報告しました。

このコンクールは、出品数1,168品の中からおいしさを測る食味分析計で上位30品が選ばれ、九州各县の米食味鑑定士30人が実食審査で決定します。

『にこまる』は作付けや収穫法を見直し改良を重ね今回の受賞となりました。原さんは「自分のお米に自信はありましたがあまさか2年連続で最高金賞を受賞できるとは思いませんでした」と語りました。

## 南関町を歩いて巡る みんなでウォークラリー

町子ども会連合会(日高香奈恵会長)は11月23日「みんなでウォークラリー」を行いました。

このイベントは南関町を知ってもらい、チームメイトを思いあう気持ちを学んでもらおうと毎年開催し、今年で10回目。当日は子どもから大人までの17チーム92人が参加。B&G海洋センターを起点に大津山神社を参拝し、北原白秋が生まれた旧石井家など4箇所のチェックポイントを巡る約8キロをコマ図を見て歩きました。また、各ポイントには、南関中学校の「喜ばせ隊」も参加し、イベントの運営に協力しました。

中尾菜々美さんは「川の飛び石を渡った。最後まで面白かった」と疲れを感じさせない笑顔で話しました。



## 高品質な農林産物出品 南関町農林産物品評会

町は11月16日、農林産物品評会をJAたまな南関総合支所で開催しました。この品評会は、町の農林産物を多くの人に知ってもらい、農業振興に寄与すること目的に毎年、実施しています。

葉菜や果樹などの8つの部門に合計97点の出品があり、金賞受賞者を翌日の「ふるさと関所まつり」で表彰しました。

各賞の受賞者は次のとおりです。(敬称略)



## 誰もがいきいきと暮らせるように 健康と福祉のつどい

南関町健康づくり推進協議会(会長:佐藤町長)は11月22日、南の関うから館で「健康と福祉のつどい」を開催しました。これは、同協議会が健やかでいきいきと暮らせるまちづくりの実現を目指して、毎年開催しています。

当時は、民生委員や住民約300人が参加。弁護士の岡部秀幸さんを講師に迎え、相続の基礎知識や、高齢者を狙った特殊詐欺についての講演を行いました。また、日本フォークダンス連盟熊本支部の田中和恵事務局長が「座てできる、からだと頭を使った体操」を紹介。参加者は、後出しじゃんけんなどに挑戦。会場から「できたー」と声が上がり、終始笑いが絶えませんでした。

【金賞】	
猿渡	利和=関外目(キャベツ)
橋本	清宏=久重(ショウガ)
片山	弘美=関東(ナス)
北原	政信=関東(レモン)
西田	孝祐=関町(ヒノヒカリ)
田中	啓一=関外目(タケノコ)

【銀賞】	
猿渡	朱美=関外目(白菜)
矢野	房幸=関下(里芋)
國崎	房之=関東(万次郎カボチャ)
猿渡	政子=関外目(ブロッコリー)
清田	民子=久重(キウイ)
葛城	れい子=宮尾(栗パイ)

【審査員特別賞】	
松永	瀧夫=上長田(高菜)
松崎	誠一=四ツ原(山芋)
大佐古矩子	大佐古矩子=関下(落花生)
武田	淳一=関外目(ヒノヒカリ)
多田隈圭志	多田隈圭志=上坂下(ヒノヒカリ)

## 安心安全な商品 雪の糸素麺

猿渡製麺所の井形朝香さんが11月6日に佐藤町長を訪問し、「日本食品衛生協会会長表彰・食品衛生優良施設」として表彰を受けたことを報告しました。

雪の糸素麺を製作している同製麺所の、衛生的な環境や食品衛生管理に対する取り組みが評価され、今回の受賞となり、10月に東京で行われた表彰式に出席しました。

井形さんは「こんな大きな賞をいただけてうれしい。今まで頑張ってきて良かった。今後もおいしい素麺が届けられるよう頑張っていきたい」と笑顔で喜びを語り、佐藤町長は「次の表彰を目指して、まだまだ現役で頑張ってください」とお祝いの言葉を伝えました。

